



オダマキ



黄色いバラ

工藤篤子メールマガジン 52号 2004.07.1

- 天に轟く賛美の歌声1
- 天に轟く賛美の歌声2
- 札幌東校の合唱部
- サム・ロットマン氏 (ピアニスト)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は6月15日に大阪から札幌にやって来ましたが、千歳空港に着いた時、ちょうど札幌祭りにおこなわれる「よさこいソーラン」コンクールの優勝チームの踊りが大きなテレビスクリーンで上映されていました。その力みなぎる踊りを見たとき、内地（北海道では、本州を内地と呼びます）には見られない、これぞ北海道！というスケールの大きさを感じました。また今、大通り公園では、「花フェスタ」と呼ばれる花市が開かれています。普段から花に囲まれた大通り公園は、さらに花一杯になりました。

●天に轟く賛美の歌声1

こちらでは、6月20日に基督聖協団、札幌教会にて、礼拝コンサートをさせていただきました。導かれた方が起こされたことを伺い、素晴らしいみ業を成してくださった主を崇めました。

ところで、札幌教会の石田吉男先生は、とても大きな声の持ち主です。それも頭声の、つまり頭の骨によく響く、とても良い声なのです。賛美の時には、石田先生の歌声が一段と大きく聞こえます。ところが、です。この日のコンサートでの会衆賛美は、石田先生の声も私の声も全く聞こえなくなるほどのすごさだったので。後ろからは、神学生、山岸君のすごい声、横からはコンサートに駆けつけてくれた、札幌東高時代の合唱部の恩師、山中先生と、後輩の中島君のすごい声、すると皆さんの歌声も一段と高くなってゆきました。最後に皆さんと共に歌った ♪♪日もすがる証しせん 夜もすがる主を誉めん み救いはたえなり み救

いはくすしと♪♪ では、みんなの歌声がひとつとなって天に轟いている、そのような賛美で涙が出るほどでした。

●天に轟く賛美の歌声2

6月27日は、札幌、北広島教会でのコンサートでした。この教会では、東高合唱部の先輩の佐々木昭男さんが聖歌隊の指導をしています。

私が昨年、この教会で歌わせていただいたボンヘッファーの「よき力に守られて」を、佐々木さんが3番まで日本語に訳して聖歌隊で歌っている、と聞き、急遽、聖歌隊にリードしてもらって、コンサートの最後にこの歌をみんなで歌うことにしました。ここの聖歌隊は7~8名の少人数なのに、佐々木さんの指導で、素晴らしい賛美を捧げるのです。ノン・ビブラートの透明な美しいハーモニーは、私たちの心に素直に染みこみ、天にまっすぐ伸びてゆくようです。北広島教会聖歌隊のリードで、会場の皆さんの歌声も転調とともに高まり、最後は再び天に轟く賛美の歌声となったのでした！

♪♪よき力に守られて 安らかに待ちます 御神は朝も夜もまた 私たちと共に♪♪

普段は控え目なピアニストの須藤さんも、「最後は私も燃えました！」と興奮するほどでした。どうか、主が、コンサートに来てくださったおひとりおひとりの心に住んでくださいますように！

●札幌東校の合唱部

高校に入った時、友人に誘われて合唱部に入りました。別に声が良かったわけでも、歌うのが好きだったわけでもありません。けれども、どもりだった私は、歌う時にはどもらないことが分かり、歌うことが大きな心の慰めになりました。そして上記の山中先生や、佐々木先輩たちの指導を受け、どんどん声が出るようになりました。当時の東校の合唱部は、北海道合唱コンクールで上位3位に必ず入るほどの実力でした。普通、音大に進むには、志望学校の先生に個人レッスンを受けなければなかなか合格できないものですが、東高合唱部にはチャレンジ精神旺盛な先輩たちが多く、独学で音大に進む人が何人かいました。私もこの先輩たちに聴音や楽典独学の秘訣を教えてもらったり、山中先生に声を聞いてもらったりしながら、独学で音大に合格することができたのです。

●サム・ロットマン氏（ピアニスト）

6月25日、札幌でサム・ロットマン氏のピアノを聞き、大変感動しました。

ロットマン氏は、アメリカ生まれのユダヤ人です。お父様はルーマニア生まれ、お母様はスロヴァキア生まれですが、お二人はヨーロッパのホロコーストを逃れて、1940年にアメリカに移りました。1950年に生まれたサムは、やっと9歳になってからピアノを始めたのにもかかわらず、11歳にはもうコンサート活動を始めていたと言いますから、そもそも大変な音楽才能の持ち主だったのだと思います。その後、世界でもトップの音楽院と言われるニューヨークのジュリアード音楽院に進み、そこで大変福音的な三人のクリスチャン音楽生に出会ったことがきっかけで、イエス・キリストをメシアと信ずるに至りました。

ロットマン氏は、今回PBA（太平洋福音放送）主催の北海道ラリーで北海道全土を回り、25日が札幌での最終ラリーでした。演奏曲目は、スカルラッチェの「三つの小品」、ベートーベンの「軍隊行進曲」、ドビッシューの「海に沈む大聖堂」、バルトークの「ルーマニア民族舞曲」、ムソルグスキーの「展覧会の絵」から、『キエフの大聖堂』を演奏されました。演奏の素晴らしさに加えて、ロットマン氏の証しは実に説得

力のあるものでした。「私はイエス様のために演奏しています。」とロットマン氏がおっしゃる通り、神は超一流の作品と超一流の演奏を用いて、ご自身の栄光を現しておられるのが良く分かりました。久々に感動した演奏会で、深く心に残り、神様の輝くような栄光を見ることのできたコンサートでした。

ロットマン氏は、あと2週間、関東、関西などで、毎日のようにコンサートをされる予定です。7月5日は、大阪は北浜のアイル・モレコタで行われる月曜礼拝、6日は北浜VIP関西センター9Fで開かれるLCJE（ローザンヌ・ユダヤ人伝道協議会）と「シオンの喜び」共催の祈禱会でも演奏と証をなさいます。もし、ロットマン氏が皆さんのお近くで演奏されるようでしたら、どうぞ是非聴きにいらしてください。

●お祈り下さい

エリヤは私たちと同じような弱い人でしたが、彼は祈りによって主の大きなみ業を行いました。義人の祈りは働くと、大きな力があります。（ヤコブ5章16～18節から）

これまで、すべてのコンサートに主の大きな導きと祝福があったのは、皆さんのお祈りのお支えがあったからです。心から感謝申し上げます！春・夏の来日コンサートも、以下のふたつのコンサートを残すばかりとなりました。特に主のご栄光が現されるコンサートとなりますようお祈りください。

7月3日、札幌中央教会での賛美コンサートのために
14:00（連絡先：教会 011-563-0635）

7月9日、ルーマニアの孤児、障害児のためのチャリティコンサートのために・
19:00、札幌聖書キリスト教会（連絡先：札幌聖書キリスト教会 011-874-6697）

（お詫び）

前回のメルマガの写真が出ませんでしたことをお詫びいたします。丁度プロヴァイダー側の工事時間と重なり、メール送信がうまくゆかなかったことが原因だったようです。

（WEB担当者注：WEB上のメルマガバックナンバーは修正してあります）

それでは、今週も共に主を見上げてまいりましょう。

シャローム・アレハム！

工藤篤子